

回
覧

井田学区福祉委員会

かわら版

第37号

発行 令和5年1月 井田学区福祉委員会



今年もよろしくお願いたします

井田学区福祉委員会委員長 山田 實

日頃は井田学区福祉委員会活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。昨年、福祉委員会では見守り・交流・助け合いなど活動計画を立てていましたが、コロナ禍で多くの計画を中止せざる得ませんでした。その様な状況でも福祉委員は『75歳以上のひとり住まい宅と85歳以上のふたり住まい宅』の訪問見守り活動を欠かさず進めてきました。その際、訪問先の皆様には快く応対していただき、また閉じこもりや介護などの新たな問題を耳にすることなく、この1年を無事過ごすことができました。

一方、昨年ロシアはウクライナ侵攻で世界を騒がせ、世界経済にも大きな影響を与えました。また日本の政治や経済も暗いニュースが多い中、スポーツ界が沸きました。冬季オリンピック、サッカーW杯、米大リーグの大谷選手、日本プロ野球の村上選手など日本選手の大活躍をテレビで観ることができ気持ちは晴々しています。『テレビ観戦もコロナ感染拡大防止の一翼を担ってくれた』と選手には感謝の想いです。しかし、催事のたびにコロナ変異株とワクチンの話題ばかり。早い終息を願う毎日ですが、この根比べはまだ続きそうです。昨年、感染者減少で行動制限が大幅に緩和されました。でも今は第8波の感染下にあります。お気を付けください!!

今年も福祉委員は専用ジャケット姿で訪問見守りや集いの活動を進めていきます。街角で見かけられたら一言励ましのお声掛けをいただければ幸いです。

この1年、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

井田学区福祉委員会では、井田学区の皆様からいただいた赤い羽根共同募金の一部を福祉活動の財源に充てさせていただいています。ありがとうございます。

【井田学区暮らしの便利帳】

高齢の方が生活で困ることのないように少しでも支援したい想いから、ひな地域包括センターが事務局となって、総代会会長、民生委員児童委員会会長と副会長、福祉委員会委員長、市議会議員及び広報支援の方で議論を重ねて『暮らしの便利帳』をまとめ上げました。



※困ったときには目次を見て下さい
*生活に必要な物を入手したいとき
*電気・水まわりの不具合で急ぎ修理を要するとき
*電球や蛍光灯を交換したくてもできないとき
*弁当を自宅に配達してほしいとき 他
など困ったときに手軽にお願いできる近くの店や施設を分かり易く紹介した冊子です。

まずは、福祉委員が日頃見守り活動で訪問している高齢者のみなさんにお届けしました。今後は、みなさんから使い勝手や内容の改善要望をお聴きし、『暮らしの便利帳』の更なる内容の充実を図っていきます。

目次	ページ
「暮らしの便利帳」とは.....	1
1. 運動・活動の実施箇所.....	2~3
2. ごまんとく体操.....	4
3. 病院.....	5~6
4. 歯科医院・薬局・治療院.....	6~7
5. 介護ベッド・車いす等が借りたい、買いたい時.....	8
6. 井田学区内にある介護施設.....	9
7. 近くにある銀行・郵便局.....	10
8. 電気・水道で困ったら.....	10
9. 持ち帰り可能な井田・広桶学区の飲食店.....	11
10. 自宅に持ってきてくれるお弁当.....	12
11. 自宅に配達してくれるお店.....	13
12. 家事や外出に手助けが必要な時.....	15
13. 不用品処分に困ったら.....	15
14. 車いすでも乗れるタクシー.....	15
15. 集配可能なクリーニング店.....	16
16. 散髪に困ったら.....	17
17. その他のサービス.....	18
18. 岡崎市高齢者見守り支援事業所.....	19
井田学区の地図(町内全体図).....	20~21
ブロック分けした地図(A~D).....	22~27
民生委員・福祉委員・総代会・市議会議員の紹介.....	28~29
掲載情報に関する留意事項.....	30
「わたしの情報」記入欄.....	裏表紙



検討会の模様



福祉委員が配付



福祉座談会【ミソ端会議】

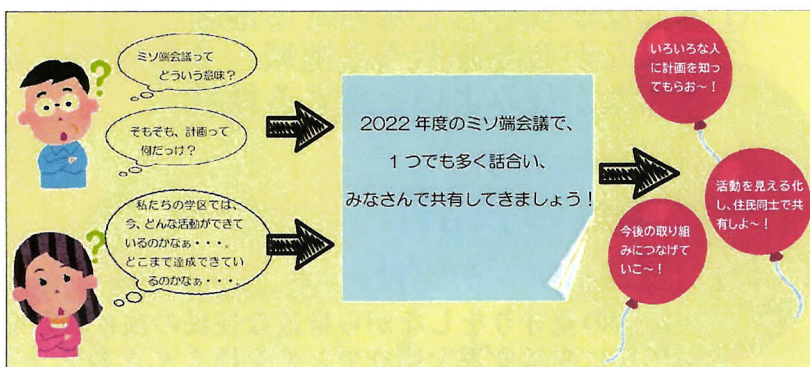
第4次岡崎市地域福祉計画（令和4年度～令和8年度）に基づいて策定した井田学区福祉計画の実施状況をみなさんと評価して課題を共有する場です。今回は、その1年目に当たる令和4年度の活動を5グループに分けて振り返りました。

会議の中では社会福祉協議会事務局の解説を加えながら参加者は理想の地域像実現に向けて熱心に話し合い、課題抽出に会議は盛り上がりました。

<令和4年度ミソ端会議の趣旨>



<活動の様子>



<井田学区福祉計画の取り組み>

No. (★)	理想の地域像	活動	令和8年度までに、理想の地域像の実現に向けて具体的に取組むこと	関連するNo.(★)
1	誰一人取り残すことなく見守りをする事ができる	見守り	① 高齢者宅訪問・声かけ・見守り（年6回） ② 登下校の見守り活動（毎日） ・総代に協力依頼を検討する	1・2・3
2	安心安全な地域になる	交流	① 子育てサロン（年5回） ・開催場所を検討する ・子育て中の親が悩みを相談できる場にする ② ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回） ・移動手段がなく、参加できない人のフォロー ③ 世代間交流 ④ 井田ふれあい文化祭での車いす体験（年1回）	3・4・6
3	担い手が確保され、安心して活動を継続できる	健康維持・介護予防	① 地域介護予防活動（月2回） ・ふれあい健康クラブ、ニコニコサークル、真伝サロン ・開催場所（広い場所、1階）を検討 ② ごまんぞく体操（3か所で週1回） ・歩いて行ける場所にするため、開催場所の増加を検討（5か所をめざす） ③ グラウンドゴルフ（週2回） ・歩いて行ける場所にする	3・4・6
4	若い参加者が増え活動が継続できる	助けあい	① 避難行動要支援者対応の具体化・防災訓練 ・総代、民生委員、福祉委員三者で日頃の見守り活動や防災訓練きめ、行動の具体化	1・5
5	学区内での様々な団体と緊密に連携がとれる	防災・防犯	① 救急医療情報キット（年1回更新・配布） ② 防災訓練（年1回） ③ 安全パトロール（月4回） ・必要に応じて防犯カメラの増設を検討する ④ 清掃活動 ・若い人への参加促進 ⑤ 防災講習会（年6回）	2・4
6	移動手段が確保でき、安心して活動に参加できる	広報・研修・会議	① 研修会（年1回） ・出前講座、施設見学等 ② 福祉だよりの発行（年2回） ③ Facebook ・様々な情報を発信する ④ 福祉委員会全体会（年6回）	3・4・7
7	適切に情報が共有できている			

【福祉委員は地域を支える大切な担い手】

井田学区福祉委員会

【井田学区福祉委員会構成員】

委員長、副委員長、事務局、福祉委員39名(各区町内会:各1~4名) 全48名

【目指す地域の姿】

- ①みんなが安心して暮らせる地域
- ②みんなが楽しみ合える地域
- ③みんなが住みよいと感じる地域



【福祉委員の役割】

- (1) 地域のアンテナ役
町内の見守りをしながら身近な住民の福祉課題を早期に発見する大切なアンテナ役。
- (2) 地域のボランティア
発見した福祉課題の解決に向けて総代、民生委員、市の関係部署など区町内関係者・専門職・専門部署と連携して取り組むボランティア。

【福祉委員会の取組み】

- ① 見守り活動 …高齢者宅訪問・見守り・声掛け
- ② 交流活動 …高齢者ふれあい食事会、世代間交流会
- ③ 助け合い活動 …行動要支援者の支援(学区の他団体と協同)
- ④ 介護予防活動 …ふれあい健康事業の支援
- ⑤ 防災活動 …防災訓練(学区の他団体と合同)
- ⑥ 広報活動 …福祉だより発行、SNSで情報提供
- ⑦ 研修・会議 …研修講座受講、見学会参加



【福祉活動とは】

ただ「弱い人の救済」ではありません。
その人がその人にとっての「しあわせ」や「よりよい生き方」をするために、その「お手伝い」や「サービス」を提供する活動です。

井田学区福祉委員会活動は、パソコンやスマートフォンでいつでも見ることができます。
『井田学区福祉委員会』と入力して、是非ご覧下さい。